

放送ストリーミング情報収載

放送ストリーミング情報【2022No.263】(HP 収載)

分類：ネットストリーミング

局等：Digital Concert Hall

作曲家：グスタフ・マーラー

曲名：交響曲第1番ニ長調

演奏：イヴァン・フィッシャー指揮ベルリンフィル

関連サイト：<https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/54359>

2022年10月9日ベルリンフィル大ホールにおける演奏です。



以上の他に下記が演奏されました。

リヒャルト・シュトラウス 《ばらの騎士》よりワルツ

リヒャルト・シュトラウス 二重小協奏曲へ長調 o. op. 147

ヴェンツェル・フックス(クラリネット)

シュテファン・シュヴァイゲルト(ファゴット)

フランシス・プーランク クラリネットとファゴットのためのソナタよりアレグロ

ヴェンツェル・フックス(クラリネット)

シュテファン・シュヴァイゲルト(ファゴット)

今回も、Brooklyn DAC+に仮想アースのCrystal Eが、スピーカーケーブルの途中とDA-3000に自作の仮想アースが使用されています。さらに、DMR-UBZ1のRCA端子にも自作の仮想アースが使用されています。

マーラーの交響曲第1番はベルリンフィルの定番ですが、フィッシャーは派手なアクションはないものの、時として抑制的から鋭角的へ的確な指揮でリードします。ベルリンフィルの方も定番ものですから、手慣れた感じで、弱音から盛り上がりの強奏まで安定した演奏です。

リヒャルト・シュトラウスのばらの騎士のワルツは華やかな曲です。
リヒャルト・シュトラウスの二重小協奏曲は、ベルリンフィルの二人の首席奏者のソロ
で、アンサンブル形式のバックとともに巧みな技量で華麗に演奏します。
アンコール曲のクラリネットとファゴットのためのソナタも軽妙な語り口で聴衆を沸
していました。
いずれの曲も、仮想アースの効果で曲の表情が豊かに再現されていました。

以上